

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県敦賀市 市立敦賀病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透未訓	救急が感災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
62,942	30,092	-	第2種該当	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

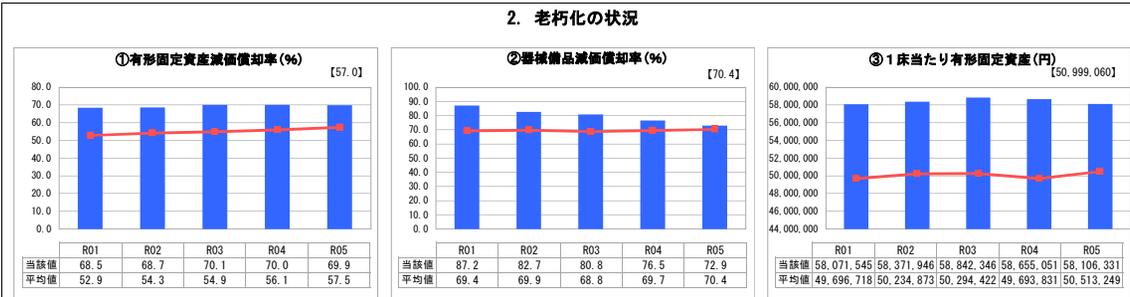
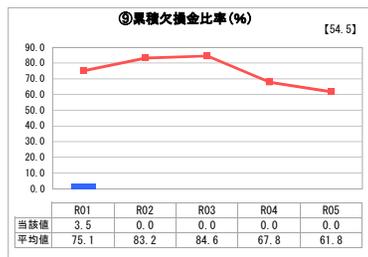
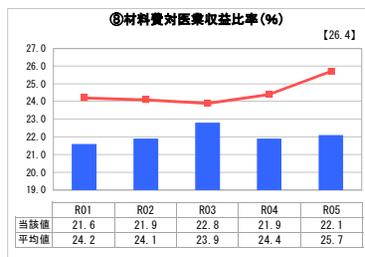
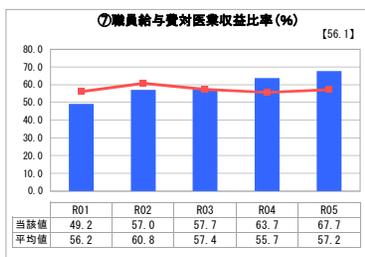
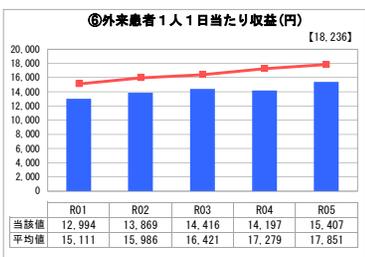
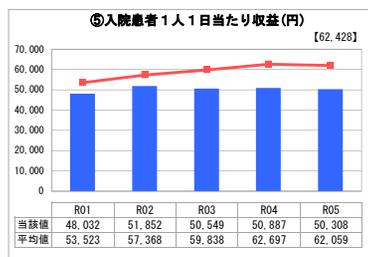
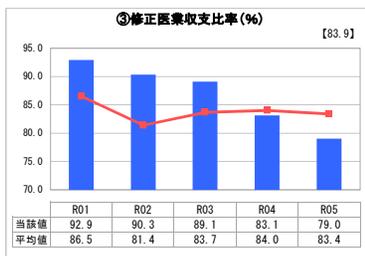
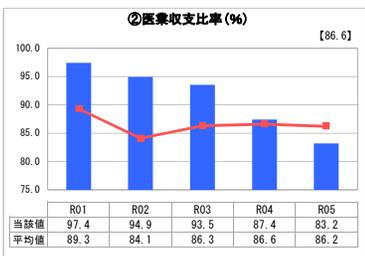
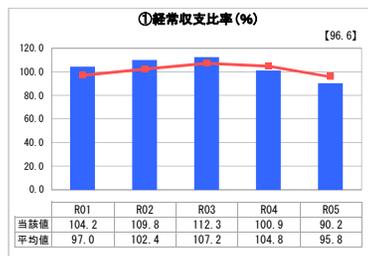
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
330	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	2	332
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
284	-	284

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の課題・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

二次医療圏である嶺南地域の中核病院であり、公立病院経営強化ガイドラインにおいて公立病院に期待される役割として救急医療、周産期医療、小児医療、高度医療、災害時医療等を提供している。救急医療では二次救急医療を担い、診療圏における中心的役割として救急搬送患者の約7割に対応している。周産期医療では地域周産期母子医療センターとして位置づけられている。小児医療では夜間輪番病院として小児救急に対応している。災害時医療では災害拠点病院及び原子力災害医療協力機関として体制を整えている。また、臨床研修病院として臨床研修医の研修も行っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症関係の交付金が廃止となったことで100%を下回り、類似病院平均との差が昨年度と比べて大きくなくなった。医療収支比率についても入院患者が横ばいであったことから人件費や経費の増加等により悪化しており、類似病院平均を下回った。病床利用率は、類似病院が昨年度と比べて上昇しているのに対して当院は横ばいであった。職員給与費対医療収益比率は給与費の増加により前年を上回り、類似病院平均との差が大きくなった。材料費対医療収益比率は類似病院平均が大きく上昇する中で当院は横ばいとなり、適正な管理により抑制することができた。入院患者の増加と患者一人当たり収益の増加に同時に取り組む一方で、給与費を適正な水準に保つために病床運営の効率化を図る必要があると考える。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに類似病院平均値及び全国平均を上回り、資産の老朽化が進んでいる。1床当たりの有形固定資産は類似団体平均値を上回っている。これらは、電源立地地域に交付される補助金等を財源に、施設更新や医療機器購入を集中して実施した時期があることが要因のひとつであるが、現在も補助金を活用して保守期間の終了する医療機器を更新していることから、器械備品に比べて建物及び附帯設備の老朽化が進んでいるという状況である。更新を行う設備・機器については安全性や経済性、今後の需要を見据えた精査を行うと同時に、財源を含めた計画的な更新がより一層必要であると考える。

#### 全体総括

主要な経営指標のほぼ全てが平均と比べて大幅に低い水準にあり、新型コロナウイルス感染症関係の交付金の廃止とともに赤字に転落した。二地域の中核病院として地域医療提供体制を確保するため、令和5年度に策定した第3次中期経営計画に基づき経営改善を早急に進める必要がある。